

News Letter

学校法人兵庫医科大学ダイバーシティ推進室



Pick up

•ダイバーシティプロジェクト(DP)教員制度

Report

•文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(特性対応型)」終了報告
•ダイバーシティ推進事業 総括シンポジウム

News & Topics

•ダイバーシティプロジェクト教員活動 ～研究医コース交流会への参加
•その他の活動(2025年10月～2026年3月)

Pick up

ダイバーシティプロジェクト(DP)教員制度



教育・研究・診療の各領域において特筆すべき業績があり、将来的に活躍が期待される女性教員のキャリア形成を積極的に支援し、女性上位職比率の向上に繋がる制度として、2023年に「ダイバーシティプロジェクト教員制度」を創設しました。また、DP教員が若手女性医師・研究者や女子学生のロールモデルとなり、次世代の育成・排出に繋がることを目的とした交流会などの活動を行っています。

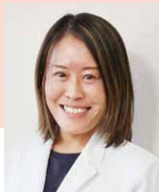
今年度は11月1日付で新たに准教授コース1名、講師コース3名が採択されました。採択証書授与式では、鈴木学長から採択証書が授与され、採択者一人ひとりが、DP教員としての抱負や今後の目標などを述べました。



2025年度 採択者

准教授コース

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
臨床准教授 任 智美



このたびはDP教員に採択していただきありがとうございます。全国的に稀な「味覚外来」の臨床データを活用した研究プロジェクトを始動しました。多様な背景を持つ患者の語りを分析し、味覚体験の主観的な評価を可視化し、診療や教育における指標の作成を目指します。まだまだ知見が少ない分野ということもあり、まずは全国的に統一された包括的な医療の実現に向けた一歩であります。現場に根ざしたダイバーシティ推進にも取り組んでまいります。

講師コース

歯科口腔外科学
臨床講師 上田 美帆



この度は、このような貴重な制度に採択いただき、大変光栄に感じております。現在、骨代謝と薬剤関連顎骨壊死に関する研究に取り組んでおります。本制度を活用させていただき、研究活動をさらに進めていきたいと思っております。また、ダイバーシティプロジェクト教員としての責務を改めて自覚し、女性医師のロールモデルとなれるよう、一層努力してまいります。



講師コース

脳神経外科学
臨床講師 飯田 倫子



この度、DP教員に選出いただき、大変光栄に存じます。脳神経外科の臨床講師として、日々の診療のみならず、臨床研究の推進や研究課題への取り組み、学生教育・若手医師の育成など、果たすべき役割は多岐にわたりますが、より一層精力的に邁進して参りたいと考えております。若い先生方が脳神経外科の魅力を感じながら、多様なライフイベントと両立しつつ豊かな経験を積めるよう、前向きに挑戦できる場を提供し、サポートしていきたいと考えております。

講師コース

先端医学研究所 神経再生研究部門
研究講師 土居 亜紀子



このたびはダイバーシティプロジェクト教員にご採用いただき、誠にありがとうございます。これまで脳梗塞後に生じる内在性幹細胞(INSPC)に関する研究に取り組んでまいりました。今後もこの脳梗塞傷害時に生じる幹細胞を活用した新たな治療法の開発に繋がるよう、基礎研究を推進していきたいと考えております。また研究を続けられる環境整備にむけても貢献できるよう努めて参ります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」終了報告



兵庫医科大学 学長
ダイバーシティ推進本部長
鈴木 敬一郎

学校法人兵庫医科大学では、令和2（2020）年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）」に採択され、女性医師・研究者の活躍促進、若手研究者の研究力向上、ライフイベント期における研究支援を中心に、多様な価値観や働き方を尊重し合う組織づくりについて活動を進めて参りました。

2026年3月末をもちまして本事業期間が終了いたしますが、今後は本事業での取り組みをさらに発展させ、誰もが研鑽を絶やすことなく成長し続けられる環境づくりに邁進してまいります。本事業推進にご協力いただきました関係者の皆様へ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



ダイバーシティ推進事業の主な取り組み

2020年度	● 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）」採択 ● ダイバーシティ研究費助成制度を創設 ● オンラインカンファレンスシステムの導入
2021年度	● キャリア支援センターの開設 ● 女性医師・女性研究者（医学部）対象 科研費申請資料作成支援を開始 ● 英語論文投稿支援（校正・掲載費用補助）の開始 ● 女性医師・研究者顕彰制度を創設
2022年度	● 研究支援員配置制度の開始 ● ロールモデル集（医師・研究者編）の発行 ● 科研費申請支援セミナー/ワークショップの開催（研究推進課との共催）
2023年度	● ダイバーシティプロジェクト（DP）教員制度を創設 ● 研究支援員制度拡充のためのクラウドファンディングの実施
2021年～ 2025年度	事業定着のための取り組み ● イクボスセミナー・ワークショップ ● ダイバーシティプロジェクト教員交流会 ● 若手研究者の研究力向上のためのワーキンググループ活動 ● 学生と医師・研究者の「キャリアデザイン交流会」 ● 各種セミナー開催（研究力向上・育児支援・ダイバーシティ推進）、他



ダイバーシティ推進事業 総括シンポジウム

開催日: 2026年3月18日(水)
開催形式: 会場とオンラインのハイブリッド形式
対象: 役員・教職員・学生、一般の方

ダイバーシティ補助事業の総括としてシンポジウムを開催し、オンライン配信では、他大学・機関のダイバーシティ推進ご担当者様、クラウドファンディングご寄付者様など、多くの方々にご参加をいただきました。

第1部では、事業期間6年間の取り組みと成果を報告し、続いて2025年度末にダイバーシティプロジェクト（DP）教員期間の終了を迎える2023年度採択者のうち2名が、研究の進捗および成果とDP教員として支援を受けた効果などについて、報告を行いました。

続く第2部では、本学医学部での男女共同参画特別授業などもご担当いただいている、広島大学の蓮沼直子先生による基調講演が行われ、最後に科学技術振興機構（JST）プログラム主管の山村康子様から、イニシアティブ事業全体について講評をいただきました。

役員・全教職員が、さらなるダイバーシティ推進に向けた展望を共有する、たいへん貴重な機会となりました。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」
総括シンポジウム
(ダイバーシティ推進 SD講演会)

創造を力に、未来を形に
学校法人兵庫医科大学は、令和2年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」に採択され、女性医師・研究者の活躍促進、若手研究者の研究力向上、ライフイベント期における研究支援を中心に、多様な価値観や働き方を尊重し合う組織づくりについて活動を進めて参りました。

日時 2026年 3月18日(水) 15:00～17:00
会場 西宮キャンパス 教育研究棟 202講義室
開催形式 オンライン(Zoom/英語90分) ※事前申込

対象 どなたでもご参加いただけます。
兵庫医科大学 全教職員・学生(会場・オンライン)
* 参加費は各自の所属機関にて負担していただきます。
一般の方(オンラインのみ)

基調講演 「令和時代のキャリアデザインとは」
広島大学医学部附属医学教育センター センター長/教授
本学 特別招聘教授 蓮沼直子先生

事前申込 (オンラインのみ) 3月17日(火)締切
オンラインで参加したい場合は、事前に申し込みをお願いします。
* 申し込みは、総務課までお問い合わせください。
* 申し込みは、総務課までお問い合わせください。

2023年度報告
研究支援員配置制度の開始
研究支援員制度拡充のためのクラウドファンディングの実施

2023年度報告
研究支援員配置制度の開始
研究支援員制度拡充のためのクラウドファンディングの実施

主催: 学校法人兵庫医科大学ダイバーシティ推進本部 / ダイバーシティ推進室

事業成果報告Ⅰ 「兵庫医科大学の6年間の取り組みと成果」

報告: ダイバーシティ推進担当学長補佐
ダイバーシティ推進室長
高雄 由美子

本学のダイバーシティ推進への取り組みと、その成果について報告しました。2020年の補助事業開始以降、女性の教授職への積極的な採用・昇任により、女性の教授数は事業開始前から2.4倍の増加となった一方、講師から准教授への昇任や講師以下若手教員のボトムアップについては課題が残りました。今後は、補助事業終了後も継続して支援を実施するほか、これまでの取り組みを分析し、さらなるダイバーシティ推進に向けた新たな制度の構築を目指していきます。



事業成果報告Ⅱ 「研究成果報告およびDP教員としての支援を受けて」

2023年の「ダイバーシティプロジェクト教員制度」創設以降、これまでに計10名の女性教員を採択し、研究費支給のほか、研究支援員の優先的配置、キャリア支援センター教員による定期的な面談、キャリアアップに関する情報の提供など、さまざまなサポートを継続しております。この度2025年度末をもってDP教員としての支援期間を終了する教員より、これまでの研究成果等の報告を行いました。



小児科学 臨床准教授 李 知子

DP教員としての3年間、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。着任当初は研究継続に不安を抱えておりましたが、研究支援により「デュシェンヌ型筋ジストロフィー新規治療」「尿素サイクル異常症の新規スクリーニングパイロット研究」などを進めることができました。研究を諦めることなく取り組み続けることができたのは、多大なるご支援と温かい励ましのおかげです。今後も本支援で得た経験を活かし、一層精進してまいります。深く御礼申し上げます。

病理学病理診断部門 臨床講師 木原 多佳子



DP教員制度の中で様々なご支援をいただき、この度ようやく研究成果を発表することができました。課題研究は、大学院生の時に最初に取り組んだ研究で、なかなか思うように進まず、疑念と確信の間を歩んできましたが、多くの方々にご支援とご協力をいただき、活動を通じて人の力の素晴らしさに触れ、一歩でも前に進む励みとなりました。この経験を糧に、感謝の気持ちを忘れず、また心新たに創業の研究を進めていきたいと思っております。

基調講演 「令和時代のキャリアデザインとは」

講師: 広島大学医学部附属医学教育センター センター長/教授
本学特別招聘教授 蓮沼直子先生



本学医学部で男女共同参画授業をご担当され、教職員向けのダイバーシティ推進SD講演会の講師も務められる蓮沼直子先生より、多様な働き方に合わせた令和時代のキャリアデザインの構築や必要な支援についてご講演いただきました。

蓮沼先生が本学で授業をする中で、時代とともに学生たちの働き方や育児に対する意識の変化を感じ、これからは一人ひとりの状況に応じた柔軟なサポートの重要性が説かれ、子育てと業務の両立をする女性医師・研究者を部下に持つ主任教授・所属長、女性教員、事務局職員などが熱心に耳を傾けていました。

ダイバーシティプロジェクト教員活動～研究医コース交流会への参加

ダイバーシティ推進室では、次世代育成の取り組みとして、本学の医師・研究者がロールモデルとして学生や若手研修医と交流する機会を設け、多様なキャリアパスを主体的に描けるよう支援を行っています。

2025年12月23日、医学部研究医コース3・4年次生の研究成果報告後に行われた交流会へ、ダイバーシティプロジェクト（DP）教員の李知子先生と木原多佳子先生が参加しました。

交流会では、研究医コースで学ぶ学生から「臨床と研究の両立」等、キャリアデザインに関する質問があり、学生時代の経験が研究の道へ進むきっかけとなったことや、大学院で研究を学ぶことで臨床の疑問を解決する力が養われたことなど、先輩研究者としての親身なアドバイスがあり、終了後も先生方を囲んで会話が続き、和やかな交流会となりました。



その他の活動 (2025年10月～2026年3月)



実施日	活動内容																				
10月1日	病児保育室「ゆりかごのーと」(利用案内) リニューアル																				
10月14日	キャリア支援センター教員コラム「なないろだより」第23回発行																				
11月11日	ダイバーシティ推進事業 2024年度活動報告書発行																				
11月19日	<p>Scientific Presentation Seminar 「世界に届く研究プレゼン：国際舞台で伝わる英語表現と構成」</p> <p>講師：ヒューマンアカデミー株式会社 Ron Read (ロン・リード) 氏 若手医師・研究者を対象とした英語プレゼンテーションスキルの向上のためのセミナーを開催し、国際学会発表に向けた心構えや準備、「伝わる」英語表現、効果的なスライド作成などを学びました。</p> <p>参加者の感想 講師の話がとても分かりやすく、これまで英語プレゼンテーションの苦手意識が強くなりましたが、頑張ってみたいと思える内容でした。</p>																				
1月9日	<p>第3回 近畿地区近隣医科大学 医療職サポート事業 共同フォーラム参加 (オンライン開催)</p> <p>近隣6医科大学によるダイバーシティ推進に関する情報交換会では、「育児中の医師・研究者へのキャリア形成支援」、「支援事業を持続可能にするための戦略」について、各大学の特色ある取り組みが紹介され、それぞれの課題にどのように取り組んでいるのか、共通点や相違点を踏まえ、活発な意見交換がありました。</p>																				
2月25日	<p>2025年度 兵庫医科大学 (医学部) 女性医師・研究者顕彰 授賞式</p> <p>本顕彰制度は、本学の発展に寄与する女性リーダーや学術研究を担う研究者の意欲を高め、また受賞者に続く次世代を育成することを目的として、教育・研究・臨床活動において優れた成果を挙げ、ダイバーシティ推進に取り組む女性医師・研究者、また熱意をもって研究に取り組む若手を表彰しています。10月の公募で4名の受賞者が決定し、授賞式が挙行了されました。鈴木学長から一人ひとりに賞状と記念品が授与され、「この受賞を通過点として、さらに飛躍をして欲しい」と受賞者をたたえました。また受賞者を代表して、女性研究者学術賞優秀賞を受賞された法医学・三浦綾先生の研究が発表され、活発な質疑応答が交わされました。</p> <div data-bbox="943 1167 1461 1487" data-label="Image"> </div> <p>2025年度受賞者 (学術部門)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受賞名</th> <th>所属</th> <th>職位</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性研究者学術賞 優秀賞</td> <td>法医学</td> <td>助教</td> <td>三浦 綾</td> </tr> <tr> <td>女性研究者学術賞 奨励賞</td> <td>産科婦人科学</td> <td>助教</td> <td>瀧本 裕美</td> </tr> <tr> <td>若手未来賞</td> <td>乳腺・内分泌外科学</td> <td>助教</td> <td>土田 純子</td> </tr> <tr> <td>若手未来賞</td> <td>小児科学</td> <td>助教</td> <td>徳永 沙知</td> </tr> </tbody> </table> <p>※所属・職位は受賞時のもの ※今年度のトップリーダー部門の受賞はありません。</p>	受賞名	所属	職位	氏名	女性研究者学術賞 優秀賞	法医学	助教	三浦 綾	女性研究者学術賞 奨励賞	産科婦人科学	助教	瀧本 裕美	若手未来賞	乳腺・内分泌外科学	助教	土田 純子	若手未来賞	小児科学	助教	徳永 沙知
受賞名	所属	職位	氏名																		
女性研究者学術賞 優秀賞	法医学	助教	三浦 綾																		
女性研究者学術賞 奨励賞	産科婦人科学	助教	瀧本 裕美																		
若手未来賞	乳腺・内分泌外科学	助教	土田 純子																		
若手未来賞	小児科学	助教	徳永 沙知																		



編集後記

2026年3月末をもって文部科学省ダイバーシティ補助事業期間が終了となり、一つの区切りを迎えることとなります。2020年の補助事業採択以降、女性教員の皆さんが研究成果を報告される姿や、ロールモデルの先生方を囲んで目を輝かせる学生・若手研修医の皆さんの様子を間近に見届け、本学でもダイバーシティの取り組みの輪が確実に広がり、変化が形となっていく過程を実感する日々でした。文部科学省の補助事業としての枠組みは終了いたしますが、今後この6年間で培われた風土をさらに広く根付かせ、発展させていくため、ダイバーシティ推進室一同も邁進してまいります。これまで本学の活動を温かく見守り、ご協力いただいた全ての皆様にご心より感謝申し上げます。

発行

兵庫医大 ダイバーシティ | Q

学校法人兵庫医科大学 ダイバーシティ推進室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

TEL : 0798-45-6428 (直通)

E-mail : danjyo-kyodo@hyo-med.ac.jp

URL : <https://www.hyo-med.ac.jp/corporation/about/activity/diversity/office/>